

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NBCメッシュテック
 コード番号 3534 URL <http://www.nbc-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石塚 昭夫
 (氏名) 古川 雅道

TEL 042-582-2411

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,354	△18.1	△118	—	△105	—	△88	—
21年3月期第3四半期	8,981	—	474	—	501	—	256	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△9.86	—
21年3月期第3四半期	28.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	21,198	—	17,591	—	82.9	1,958.26
21年3月期	20,768	—	17,634	—	84.8	1,963.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,571百万円 21年3月期 17,616百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	△5.8	150	—	180	63.6	150	—	16.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	9,309,000株	21年3月期	9,309,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	335,785株	21年3月期	335,648株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	8,973,293株	21年3月期第3四半期	8,973,535株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済を概観しますと、一昨年の金融危機により悪化した景気は、一部で持ち直しの動きをみせておりますが、実体経済は依然として厳しい状況で推移しております。米国及び欧州経済は、政策効果もあり下げ止まりがみられるものの、景気は引き続き低迷しております。アジア経済は、中国では内需を中心に回復しており、その他地域でも総じて景気は回復しております。一方、我が国経済は、一昨年の秋以降に急速に悪化した景気は、輸出や生産に持ち直しの傾向がみられるものの、雇用情勢の一層の悪化や海外経済の下振れ懸念など景気の下押しリスクもあることから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社製品の得意先関連業界の状況ではありますが、プリント基板業界は需要減少に対応するための工場集約など生産体制の再構築が進められております。一方、自動車部品業界でも、一部のハイブリッド車など以外は世界的に自動車市場の需要は総じて低迷しております。

得意先関連業界のこのような事業環境の下で、当社グループは、海外市場への積極的な展開、国内市場の販売力強化、研究開発体制の充実、生産・購買部門における徹底したコストダウンを進めてまいりました。また、新規抗ウイルス技術「Cufitec®(キュフィテック)」を開発し、昨年11月より「Cufitec®」ブランド製品化第1弾として高性能マスクの販売を開始いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73億5千4百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は1億1千8百万円（前年同期は営業利益4億7千4百万円）、経常損失は1億5百万円（前年同期は経常利益5億1百万円）、四半期純損失は8千8百万円（前年同期は四半期純利益2億5千6百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（スクリーン印刷用資材）

当社グループの主力製品であるスクリーン印刷用メッシュクロスは、国内において、片面基板生産の減少の影響、一般印刷業界の低迷などにより厳しい状況であります。海外においては、中国を中心にアジアは回復傾向にありますが、北米、欧州では売上が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は30億5千9百万円（前年同期比 18.4%減）、営業損失は7千1百万円（前年同期は営業利益2億6千7百万円）となりました。

（産業用資材）

産業資材用途としては、得意先での生産の持ち直しはみられるものの依然需要は低迷しており、濾過布用、フィルター用、メディカル用、防虫網などの用途は減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は18億9千8百万円（前年同期比 20.6%減）、営業損失は1億5百万円（前年同期は営業利益9千4百万円）となりました。

（化成品）

自動車用フィルターは、主力のインジェクター用及びABS用フィルターなど、ハイブリッド車向けには増加しているものの全体的には売上の力強い回復にはいたらず、家電用フィルターについても、洗濯機用、浄水器用、エアコン用フィルターなどが減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22億3千3百万円（前年同期比 15.3%減）、営業利益は4千6百万円（前年同期比 50.7%減）となりました。

(その他)

その他については、入替用の養殖用生簀(いけす)金網の需要低迷により、売上高は1億6千3百万円(前年同期比 20.3%減)、営業利益は1千1百万円(前年同期比 30.4%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、211億9千8百万円となり前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加いたしました。流動資産は122億1千4百万円となり、2億3千2百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加6億2千1百万円であります。固定資産は89億8千4百万円となり1億9千7百万円増加いたしました。有形固定資産は、78億5千7百万円となり5千2百万円減少、無形固定資産は、5億8千7百万円となり2億6千2百万円増加、投資その他の資産は5億3千9百万円となり1千3百万円減少いたしました。

当第3四半期末の負債合計は36億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千3百万円増加いたしました。流動負債は15億6千万円となり、2億5千万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少6千2百万円、未払法人税等の減少4千4百万円であります。固定負債は2億2千2百万円増加いたしました。主な要因は、退職給付引当金の増加等であります。

当第3四半期末の純資産の部は前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少いたしました。主な要因は、当四半期純損失8千8百万円の計上、配当金8千9百万円の支払、為替換算調整勘定の増加1億3千1百万円であります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.8%から82.9%と1.9%減少いたしました。

キャッシュフローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動の結果、税金等調整前四半期純損失が1億1千万円となり、又投資活動の結果、29億9千6百万円の資金を使用したこと等により前連結会計年度末に比べ25億円減少し、当第3四半期末は、16億2千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億2千3百万円となりました。これは主に、減価償却費と売上債権の増加と未払費用の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、29億9千6百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出と有形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億6千1百万円となりました。これは主に、配当金の支払とリース債務の返済等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画した範囲内で推移したため、平成21年4月24日発表の通期連結業績予想に変更はありません。今後の動向により修正の必要性が生じた場合は、適切かつ速やかに開示してまいります。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等は多額の貸倒等の発生がない限り前期連結会計年度末と同等とみなしております。

特有の会計処理

- ・税金費用の計算

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計処理基準に関する事項の変更

該当事項はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,129,871	4,130,677
受取手形及び売掛金	3,078,590	2,456,839
商品及び製品	3,052,580	3,040,146
仕掛品	554,125	585,431
原材料及び貯蔵品	976,928	987,949
その他	430,203	783,834
貸倒引当金	△8,165	△3,385
流動資産合計	12,214,134	11,981,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,430,125	3,136,024
その他(純額)	4,427,514	4,773,664
有形固定資産合計	7,857,640	7,909,688
無形固定資産		
のれん	31,382	38,624
その他	556,056	286,048
無形固定資産合計	587,438	324,673
投資その他の資産		
その他	539,725	571,407
貸倒引当金	—	△18,500
投資その他の資産合計	539,725	552,907
固定資産合計	8,984,804	8,787,269
資産合計	21,198,938	20,768,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	543,535	606,357
未払法人税等	14,475	59,295
その他	1,002,633	644,130
流動負債合計	1,560,644	1,309,782
固定負債		
退職給付引当金	1,537,620	1,511,387
引当金	3,664	12,664
その他	505,868	300,621
固定負債合計	2,047,152	1,824,672
負債合計	3,607,796	3,134,455

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,992,000	1,992,000
資本剰余金	2,079,627	2,079,627
利益剰余金	14,624,632	14,802,804
自己株式	△467,358	△467,230
株主資本合計	18,228,901	18,407,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,657	5,496
為替換算調整勘定	△664,643	△795,903
評価・換算差額等合計	△656,985	△790,406
少数株主持分	19,225	17,512
純資産合計	17,591,141	17,634,306
負債純資産合計	21,198,938	20,768,762

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	8,981,591	7,354,464
売上原価	6,323,475	5,336,330
売上総利益	2,658,115	2,018,134
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	201,395	162,616
役員報酬及び給料手当	622,328	616,421
退職給付引当金繰入額	51,818	48,261
減価償却費	55,424	99,165
貸倒引当金繰入額	18,500	—
その他	1,234,115	1,210,250
販売費及び一般管理費合計	2,183,583	2,136,714
営業利益又は営業損失 (△)	474,532	△118,580
営業外収益		
受取利息	31,935	26,694
受取配当金	4,054	2,266
受取賃貸料	7,083	7,008
持分法による投資利益	369	—
その他	9,545	37,330
営業外収益合計	52,988	73,299
営業外費用		
支払利息	9,310	3,569
持分法による投資損失	—	1,116
為替差損	14,382	49,129
その他	2,231	6,398
営業外費用合計	25,924	60,214
経常利益又は経常損失 (△)	501,596	△105,495
特別利益		
固定資産売却益	—	757
貸倒引当金戻入額	—	5,788
区画整理に伴う収入	2,378	23,305
特別利益合計	2,378	29,851
特別損失		
固定資産処分損	5,539	3,441
75周年記念事業費	—	31,270
ゴルフ会員権評価損	8,999	—
特別損失合計	14,538	34,712
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	489,435	△110,356
法人税等	229,634	△22,051
少数株主利益	2,839	133
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	256,961	△88,438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	489,435	△110,356
減価償却費	743,632	914,887
のれん償却額	7,242	7,242
負ののれん償却額	△766	—
持分法による投資損益(△は益)	△369	1,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	67,176	26,232
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,750	—
修繕引当金の増減額(△は減少)	△6,532	△9,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,561	△13,676
受取利息及び受取配当金	△35,989	△28,960
支払利息	9,310	3,569
為替差損益(△は益)	1,258	349
有形固定資産処分損益(△は益)	5,539	3,441
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△757
区画整理に伴う収入	—	△23,305
ゴルフ会員権評価損	8,999	—
売上債権の増減額(△は増加)	583,594	△585,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	△737,653	58,381
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	36,991
その他の流動資産の増減額(△は増加)	25,824	71,807
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△28,559	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△190,521	△65,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,103	33,336
未払費用の増減額(△は減少)	△122,653	△143,433
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△7,349	226,893
その他の固定負債の増減額(△は減少)	29,647	△28,031
小計	836,973	375,599
区画整理に伴う収入の受取額	—	56,902
利息及び配当金の受取額	59,880	29,174
利息の支払額	△9,310	△3,569
法人税等の支払額	△574,707	△104,106
法人税等の還付額	—	269,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,836	623,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,500,000	△2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,185,246	△463,369
無形固定資産の取得による支出	△50,868	△45,113
有形固定資産の売却による収入	—	5,799
長期貸付金の回収による収入	1,336	263
その他	234	5,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,734,544	△2,996,563

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△16,189	△68,759
自己株式の取得による支出	△91	△128
配当金の支払額	△394,836	△90,951
その他	—	△1,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411,117	△161,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,025	33,855
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,872,850	△2,500,806
現金及び現金同等物の期首残高	5,861,769	4,130,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,988,919	1,629,871

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	スクリーン印刷用資材 (千円)	産業用資材 (千円)	化成品 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,749,659	2,391,764	2,634,998	205,170	8,981,591	—	8,981,591
営業利益	267,712	94,529	95,157	17,134	474,532	—	474,532

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	スクリーン印刷用資材 (千円)	産業用資材 (千円)	化成品 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,059,499	1,898,302	2,233,112	163,549	7,354,464	—	7,354,464
営業利益又は営業損失 (△)	△71,616	△105,784	46,900	11,919	△118,580	—	△118,580

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

スクリーン印刷用資材 … 印刷用・スクリーン印刷用資材

産業用資材 … 産業資材用メッシュ

化成品 … 成形フィルター、金型

その他 … 養殖用金網

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を10～14年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より法人税法の改正を契機とし見直しを行い、7～10年に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、スクリーン印刷用資材事業で79,875千円、産業用資材事業で12,395千円、化成品事業で344千円それぞれ減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,917,715	758,539	305,337	8,981,591	—	8,981,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	459,704	52,430	464,869	977,003	(977,003)	—
計	8,377,419	810,969	770,206	9,958,594	(977,003)	8,981,591
営業費用	8,093,696	830,558	564,597	9,488,852	(981,793)	8,507,058
営業利益又は営業損失(△)	283,723	△19,589	205,609	469,743	4,789	474,532

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
外部顧客に対する売上高	6,766,667	444,067	143,728	7,354,464	—	7,354,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	349,082	33,380	404,738	787,201	(787,201)	—
計	7,115,749	477,448	548,467	8,141,666	(787,201)	7,354,464
営業費用	7,332,622	492,724	452,795	8,278,142	(805,098)	7,473,044
営業利益又は営業損失(△)	△216,872	△15,275	95,672	△136,476	17,896	△118,580

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。
 (1) 北米……米国 (2) その他……アジア
 3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を10～14年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より法人税法の改正を契機とし見直しを行い、7～10年に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で92,615千円減少しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,347,613	758,539	741,253	2,847,405
II 連結売上高（千円）	—	—	—	8,981,591
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	15.0	8.4	8.3	31.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,155,355	464,941	534,647	2,154,943
II 連結売上高（千円）	—	—	—	7,354,464
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	15.7	6.3	7.3	29.3

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) アジア……中国、韓国、台湾等
 (2) 北米……米国、カナダ
 (3) その他……ドイツ、英国等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間における剰余金の配当は、以下の通りであります。なお、この他に該当事項はありません。

(配当金支払額)

平成21年6月26日開催の定時株主総会において、次の通り決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- ①配当金の総額 89,733千円
 ②1株当たり配当額 10円
 ③基準日 平成21年3月31日
 ④効力発生日 平成21年6月29日
 ⑤配当の原資 利益剰余金

6. その他の情報

該当事項はありません。